



2023年12月25日

各位

株式会社 TOKAI ケーブルネットワーク

## 静岡市シェアサイクルサービス『PULCLE』 静岡駅北口駅前広場ステーションのリニューアルについて

～ 発電+蓄電+サイネージを実装した「災害レジリエンス強化型 再エネステーション」へ ～

株式会社 TOKAI ケーブルネットワーク(本社:静岡県沼津市、代表取締役社長:鈴木 光速、以下「当社」)は、静岡駅北口駅前広場にある静岡市シェアサイクルサービス『PULCLE』のステーション(駐輪場所)を、「発電+蓄電+サイネージ」を実装した「災害レジリエンス強化型 再エネステーション」へとリニューアルいたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

静岡市シェアサイクルサービス『PULCLE』は、サービス提供開始から多くのご利用をいただいております。2023年6月で3周年を迎えました。当初、自転車数:94台、ステーション数:45ヶ所でサービスを開始いたしましたが、現在では、自転車数:600台(サービス開始当初の6.4倍)、ステーション数:207ヶ所(同4.6倍)まで規模を拡大することができ、静岡市における“新しい公共交通機関”としてご認知頂けるようになりました。

この度リニューアルいたしました静岡駅北口駅前広場のステーションは、“発電”(最大出力3.7kWの最新型太陽光発電システム)と“蓄電”(テスラ社製13.5kWh蓄電池)と“サイネージ”(PDC社提供のCMS搭載約70インチ2面LEDサイネージ)を実装します。

当ステーションで発電した電力は、PULCLEの車載電池への充電とサイネージの稼働に利用するとともに、余剰電力は蓄電池に備蓄し夜間の電力源として利用します。さらには、災害時に充電ポートを解放し、防災拠点としての活用も念頭に設計されております。

大型サイネージモニターでは、太陽光パネルによる発電状態の表示など、市民の皆様に向けた環境意識の啓発を行うとともに、シティプロモーション映像や行政情報の配信、及び災害時の情報発信に利用することで、「新しい市政広報メディア」としての役割を担うべく検証をすすめてまいります。

TOKAIグループでは、『新中期経営計画2025』(2023年5月9日公表)にて公表の通り、低・脱炭素化への取り組みを推進しております。

当社においても、環境負荷の低いPULCLEの普及促進によりCO2の削減に貢献するとともに、今回のステーションへの太陽光発電導入により、GX(グリーントランスフォーメーション)を一層推進してまいります。更に、今後は、“地域と一体となった”低・脱炭素化推進の取り組みを具体化していくため、静岡市と協働し、本ステーションを活用した各種検証を進めてまいります。

### 【お問い合わせ先】

株式会社 TOKAI ケーブルネットワーク 次世代成長戦略本部 企画部

TEL:054-253-2400(受付 月～金曜 9:00～17:45)

<https://www.thn.ne.jp>

【参考】今後の展望など

■ 再生電力を活用した新しい都市インフラ(モビリティ、防災)サービスの形を展望

再生電力導入の着眼点



モビリティ充電

再生可能エネルギーをモビリティに充電する循環モデルの実現



防災拠点活用

災害時の被災情報の発信(サイネージ)や緊急電源の供給(蓄電池)など『防災拠点』として活用

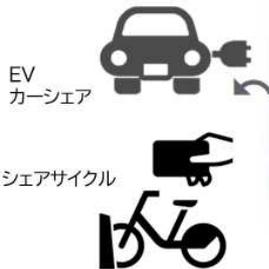


地域課題

地域課題を通して持続可能な社会を実現していく

将来展望

モビリティインフラ



再生可能エネルギーを電力として活用

防災・情報発信インフラ



新しい都市インフラサービスの形を展望

【参考】静岡駅北口駅前広場ステーションへの設置機器について



- 太陽光発電ガラス : AGC 建材一体型太陽光発電ガラス「サンジュール®」2枚のガラスの間に発電セルを挟み込みガラスの採光性と耐久性を合わせもつ意匠性の高い建材一体型太陽光発電ガラス システム最大出力 3.7kW
- 蓄電池 : テスラ「パワーウォール」 テスラ電気自動車のバッテリー技術とデザイン性の高い商品 蓄電池容量:13.5kWh 静岡県内初のテスラ Powerwall 認定販売施工会社「(株)RST」にて施工
- デジタルサイネージ : LEDビジョン ピクセルピッチ:2.97mm、輝度:4000cd/m<sup>2</sup>、サイズ:W1500mm×H750mm (2面)
- 非接触型給電 : スマートフォン向けワイヤレス充電器 3箇所
- 給電コンセント : 非常時に開放する 100V コンセント 4個(8口)
- Wi-Fi サービス : SSID パスワードを設定いただくと無料でご利用できます